



2025 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 大分銀行
代 表 者 名 取締役頭取 高橋 靖英
(コード番号 8392 東証プライム、福証)
問合せ先 総合企画部長 河野 雅之
(TEL. 097 - 534 - 1111)

「中期経営計画2024」における財務目標の見直しに関するお知らせ

株式会社大分銀行（頭取 高橋 靖英）は、本日開催の取締役会において、「中期経営計画2024」における財務目標について、見直しいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「中期経営計画2024」における財務指標目標の見直し

(1) 見直しの内容

財務指標		最終年度目標（2026 年度）	
		当初計画	修正後
収益性 指標	連結当期純利益 ※親会社株主に帰属する当期純利益	80 億円以上	100 億円超
	連結 ROE ※株主資本ベース	4.0%程度	5.0%超
健全性 指標	連結自己資本比率 ※パーゼルⅢ最終化完全実施ベース	10%程度	9.5%程度
効率性 指標	単体 OHR	70%程度	65%程度

(2) 見直しの理由

「中期経営計画2024」が順調に進捗していることに加え、足元での国内金利市場が当初計画よりも高い水準で推移し、今後も一定程度の上昇が見込まれることを踏まえて、計画最終年度（2026年度）における財務目標を修正いたします。

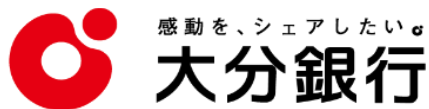
以 上

【本件に関する問合せ先】

総合企画部 経営企画グループ 佐藤 Tel. 097-538-7617
〃 広報・SDGsグループ 濱田 Tel. 097-538-7617

中期経営計画2024における 財務目標の見直しについて

2025年11月10日



東証プライム市場：8392

1. 財務目標の見直し

- Vision2031（2030年度）で掲げた連結当期純利益目標100億円、その先の中長期的なターゲットである連結ROE5.0%を前倒し、「中期経営計画2024」最終年度（2026年度）の財務目標とする
- 持続的な成長および企業価値の向上に向け、新たな中長期的なターゲットとして連結ROE8%を掲げる

財務指標	「中期経営計画2024」 2026年度目標			中長期的なターゲット		
	当初	修正後	差異	当初	修正後	差異
連結ROE ※株主資本ベース	4.0%程度	5.0%超	+1.0%	5.0%	8.0%	+3.0%
連結当期純利益 ※親会社株主に帰属する当期純利益	80億円以上	100億円超	+20億円			
連結自己資本比率 ※バーゼルⅢ最終化完全実施ベース	10%程度	9.5%程度	▲0.5%			
単体OHR	70%程度	65%程度	▲5.0%			

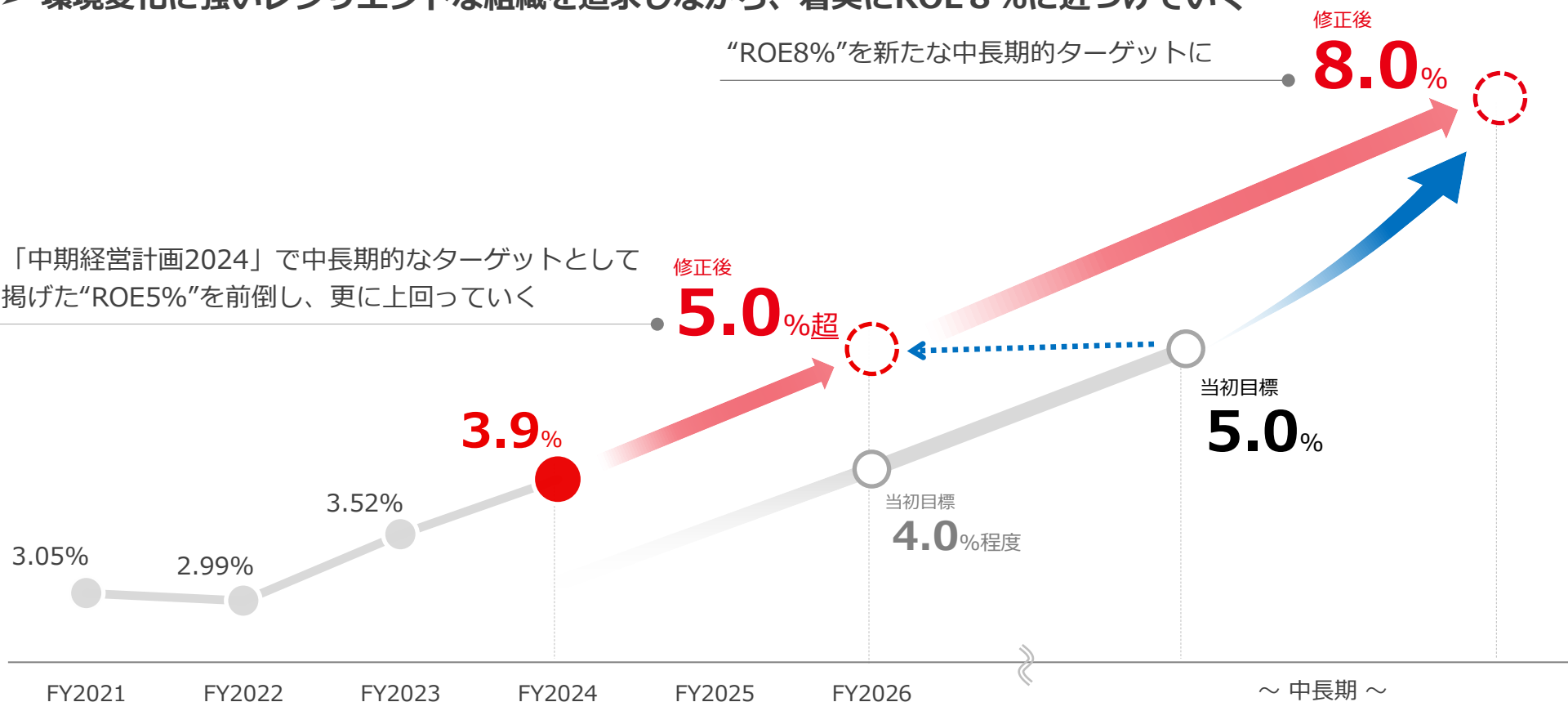
※利益見通しにおける政策金利の前提は2025年度0.5%、2026年度0.75%

2. より高い成長軌道の実現 ～ ROE 8 %実現に向けて～

➤ 環境変化に強いレジリエントな組織を追求しながら、着実にROE 8 %に近づけていく

“ROE8%”を新たな中長期的ターゲットに

「中期経営計画2024」で中長期的なターゲットとして掲げた“ROE5%”を前倒し、更に上回っていく



中期経営計画2021

【経費コントロール】

- 店舗統廃合（BinB含む）
- 人員体制のスリム化
～中期経営計画2024以降も継続～

【収益力の向上・経費コントロール】

- 野村証券とのアライアンス
～個人営業におけるチャネル体制整備～

中期経営計画2024

【収益力の強化】

- バランスシートマネジメントの高度化
～RORAを意識した運用戦略の構築～
- 法・個営業におけるノンアセット収益の増強

【収益力の強化・経費コントロール】

- 県内法人営業体制の再構築
- 【資本コントロール】
- 資本効率を踏まえた株主還元の強化

次期中計以降

【収益力の強化】

- バランスシートマネジメントの最適化
- ファイナンス&ソリューションの高度化
- 県外拠点の収益力強化

【収益力の強化・経費コントロール】

- デジタルを活用した営業プロセス変革
- 【資本コントロール】
- 資本効率を踏まえた株主還元の強化



感動を、シェアしたい。

大分銀行

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.